

北見情報ビジネス専門学校

情報通信科 2年生

専門科目 シラバス

科目名 情報管理論	授業の種類 (講義) 演習 実習	授業担当者 小湊 知典
時間数 (単位数) 5単位	学年・時期 2 学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 基本情報技術者試験の合格を目標とし、情報技術の基礎知識を習得する。		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 ① 基本情報技術者試験 科目 A 問題対策 ② 基本情報技術者試験 科目 B 問題対策		
〔使用テキスト・参考文献〕 キタミ式イラスト IT 塾 基本情報技術者 令和 06 年 基本情報技術者試験科目 B 問題集 出るところだけ！基本情報技術者科目 B 第4版	〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 定期試験(筆記)により評価、50 点以上を合格とする。 (50 点～59 点 C 評価、60 点～79 点 B 評価、 80 点～100 点 A 評価)	
〔関連科目〕 情報概論		

科目名 プログラミングⅡ	授業の種類 講義 演習 実習	授業担当者 今北 克弥（実務経験：ゲーム開発会社にてプログラミングによるゲーム開発業務に従事）
時間数（単位数） 14単位	学年・時期 2学年	区分 必修 選択
〔授業の目的・ねらい〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Java を使用した実践プログラミングの習得</li> <li>・ Android アプリケーション開発</li> <li>・ Raspberry Pi を使用した電子工作等プログラム作成</li> </ul>		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 <p>Java 実践編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インスタンスの基本操作</li> <li>② さまざまな種類のクラス</li> <li>③ 関数とラムダ式</li> <li>④ JVM 制御とリフレクション</li> <li>⑤ 非標準ライブラリの活用</li> <li>⑥ ファイルの操作</li> <li>⑦ さまざまなファイル形式</li> <li>⑧ ネットワークアクセス</li> <li>⑨ データベースアクセス</li> <li>⑩ Java servlet/JSP 概要</li> </ol> <p>Android アプリケーション開発(kotlin)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① Android（開発環境準備）</li> <li>② Android（AndroidStudio 操作）</li> <li>③ Android（おみくじアプリ作成）</li> </ol> <p>Raspberry Pi プログラム作成(python)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ LED ライト点灯プログラム</li> <li>⑤ 人感センサープログラム</li> <li>⑥ 自主制作</li> </ol>		
〔使用テキスト・参考文献〕 <p>スッキリわかる Java 入門 実践編  作って楽しむプログラミング  Android アプリ超入門 改訂新版  ラズベリーパイ</p>	〔単位認定の方法及び基準〕 <p>（試験の評価基準など）  定期試験により評価、50 点以上を合格とする。  （50 点～59 点 C 評価、60 点～79 点 B 評価、  80 点～100 点 A 評価）</p>	
〔関連科目〕		

科目名 web クリエータⅡ	授業の種類 講義 演習 実習	授業担当者 林 将史
時間数（単位数） 7単位	学年・時期 2 学年	区分 必修 選択
〔授業の目的・ねらい〕 PHP の実践的な知識・技術を習得する フレームワークの laravel を使用してアプリケーションの開発を行う		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 PHP の基礎 簡単な Web アプリケーションを作成する 1) CSV ファイルを読み込む 2) 適正体重の計算アプリ作成 3) API を利用したアプリ（郵便番号検索プログラム） データベースを操作する（MySQL） 4) SQL 文でデータベースを操作する データベースと連携した Web アプリケーション 5) PHP とデータベースを連携する ログイン処理とセッション 6) ログイン処理を行う Laravel によるつばやきアプリの開発 1) アプリケーションの基本構造を作る 2) データ取得、追加、編集、削除（コントローラの作成、ビューの作成、モデルの作成） 3) データベース操作 4) サービスコンテナ、依存性の注入 5) ログイン機能の実装（Laravel Breeze） 6) ミドルウェア 7) Laravel Vite でフロントエンドを作る 8) コンポーネント機能を利用する 9) メールの送信機能を追加する 10) Queue を使って処理を非同期にする、スケジューラーで定期的なバッチ処理を行う 11) 画像のアップロード機能を追加する 12) アプリケーションをテストする		
〔使用テキスト・参考文献〕 初心者からちゃんとしたプロになる PHP 基礎入門 改訂 2 版 プロフェッショナル Web プログラミング Laravel		〔単位認定の方法及び基準〕 （試験の評価基準など） 定期試験により評価、50 点以上を合格とする。 （50 点～59 点 C 評価、60 点～79 点 B 評価、80 点～100 点 A 評価）
〔関連科目〕 web クリエータⅠ		

# 共通科目

科目名 オーラル英語Ⅱ	授業の種類 (講義) 演習 実習	授業担当者 中山 千英
時間数(単位数) 1単位	学年・時期 2学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 オーラル英語Ⅰの基礎に磨きをかけ、場面やテーマに応じた内容理解と英語表現が出来る応用力を養成する。		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕  1. オリエンテーション(授業の内容と進め方)  2. 教材 ※ プリント配布→A4の紙ファイルに綴じる ① テキスト：とってもやさしい英文法(高校レベルの英文法で特に重要なもの) ② はじめての英会話(場面に応じた表現の理解) ③ 和文英訳(日常表現を英文で表す練習) ④ 英語の歌、場面の英語表現(CDを利用)  3. テーマ ① 専門学校での生活を振り返って ② 卒業後の進路について		
〔使用テキスト・参考文献〕 うさまると一緒にまなぶはじめての英会話	〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 出席状況による	
〔関連科目〕		

科目名 ビジネス教養Ⅱ	授業の種類 (講義) 演習 実習	授業担当者 小湊 知典
時間数(単位数) 1単位	学年・時期 2学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 目的 就職内定をもらう為、履歴書の書き方・SPI 対策そして面接指導 社会人としての歩み方 ねらい 社会人としての常識・マナーの習得及び就職指導(自己分析・就職活動の動き方)		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 ① 社会常識 ② 仕事について ③ 一般知識 ④ ビジネスコミュニケーション ⑤ ビジネスマナー ⑥ 履歴書作成・面接指導		
〔使用テキスト・参考文献〕 これが本当のSPI3だ！2024年版 2026 就職活動1冊目の教科書	〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 定期試験により評価、50点以上を合格とする。 (50点～59点 C評価、60点～79点 B評価、80点～100点 A評価)	
〔関連科目〕		

科目名 情報処理演習Ⅱ	授業の種類 講義 (演習) 実習	授業担当者 小湊 知典
時間数(単位数) 2単位	学年・時期 2学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 Microsoft office Excel 2019の様々な機能を効果的に使用し、 マイクロソフト オフィス スペシャリスト試験の合格を目標とする。		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 ① Excel 1) ブックのオプションと設定の管理 2) ユーザー定義の表示形式やレイアウトの適用 3) 高度な機能を使用した数式の作成 4) 高度な機能を使用したグラフやテーブルの作成 5) MOS 模擬試験プログラムの実施・解答解説(第1回～第5回)		
〔使用テキスト・参考文献〕 Microsoft Excel 2019 & 365 Expert MOS 対策テキスト & 問題集	〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 定期試験により評価、50点以上を合格とする。 (50点～59点 C評価、60点～79点 B 評価、80点～100点 A評価)	
〔関連科目〕		



科目名 インターンシップⅡ	授業の種類 講義 演習 <b>実習</b>	授業担当者 企業、医療機関等による
時間数（単位数） 2単位	学年・時期 2学年・前期	区分 <b>必修</b> 選択
〔授業の目的・ねらい〕 目標 1，2年次に得た技術及び知識を活用し、企業又は医療機関等にて実習を行うことにより最新の動向または実践的な技術及び知識を習得する 職場にて実習を行うことにより、チームでの作業又はコミュニケーションの必要性を体験する		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 ①インターンシップにおける心得又はルールの周知 ②履歴書および必要書類作成 ③電話練習 ④実習先アポイント ⑤実習先にて10日間の実習 実習先では企業、医療機関等により下記の内容を4段階評価（優、良、可、不可）にて行う 1出席状況、2服装、3挨拶、4言葉遣い、5接客態度、6協調性、7研究心、8責任感 9理解判断力、10専門知識、11専門技術、12積極性、13計画性、14社会性、15総合評価 ⑥礼状作成、自己評価の実施 ⑦報告会にて実習内容、得た知識や経験等のプレゼンテーション実施 ・インターンシップ先 （総合事務科） 病院、診療所、調剤薬局、介護施設（介護事務）、金融機関、一般企業 （情報通信科） IT企業、広告代理店、印刷業 （ホテル観光ビジネス学科） ホテル、旅行代理店、観光協会		
〔使用テキスト・参考文献〕	〔単位認定の方法及び基準〕 （試験の評価基準など） 出席状況により履修	
〔関連科目〕		

科目名 道德Ⅱ	授業の種類 (講義) 演習 実習	授業担当者 土澤 満
時間数(単位数) 1単位	学年・時期 2学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 社会人として必要な、社会生活を営む上で、ひとりひとりが守るべき行為の規準を身につける		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕  1年時の授業を社会人としての立場も踏まえて学習する 1) 就職活動の進め方(履歴書の書き方等) 2) タイムマネジメントスキルの育成 3) 1人暮らし収支シミュレーション 4) 2年間の学校生活計画の振り返り 5) 就職後にすべきこと		
〔使用テキスト・参考文献〕	〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 出席状況により評価	
〔関連科目〕		

科目名 総合実践Ⅱ	授業の種類 講義 (演習) 実習	授業担当者 鈴木ひろ子
時間数（単位数） 1 単位	学年・時期 2 学年	区分 (必修) 選択
〔授業の目的・ねらい〕 スタジオレッスン 基礎体力の維持、向上が目的、エアロビクス等を行う		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕  スタジオレッスン <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎運動</li> <li>・エアロビクス</li> </ul>		
〔使用テキスト・参考文献〕	〔単位認定の方法及び基準〕 （試験の評価基準など） 出席状況により評価	
〔関連科目〕		

# 選択科目

科目名 CG 映像作成基礎	授業の種類 講義 <b>演習</b> 実習	授業担当者 今北 克弥
時間数 (単位数) 2単位	学年・時期 2学年	区分 必修 <b>選択</b>
〔授業の目的・ねらい〕 Adobe 社製 Illustrator の使用・活用方法を身に付ける。 Adobe 社製 Premiere Pro の使用・活用方法を身に付ける。		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 ～Illustrator～ ①Illustrator を知る(画面構成、操作方法、しくみ、保存形式・方法) ②イラスト作成による Illustrator の基本操作 ③ロゴの作成 (図形の変形、グラデーション、グループ化) ④名刺作成 (文字入力、整列) ⑤地図作成 (曲線の作成、アイコン配置、マスク) ⑥ポストカード作成 (パターン作成) ⑧ブログのタイトル画像作成 (オブジェクト作成)  ～Premiere Pro～ ①Premiere Pro 基礎編 映像編集の基礎 ②Premiere Pro 入門編 ・カット編集とインサート編集 ・基本的な音声補正 ③Premiere Pro 中級編 ・インタビュー動画の作成 (マルチカメラ機能) ・インパクトのある動画の切り替え ・手ブレ補正 ・フリーズフレームを使用した分身動画 ・手書き風タイトルの作成方法 ④Premiere Pro 上級編 ・スマホの画面を使ったシーンの切替演出 ・タイトルアニメーションの作成方法 ・基本的な色補正 ・さまざまな色調の作り方 ・タイムリマップの作成方法 ・自動モザイクの作成方法 ・エンドロールの作成方法 ・グラフィックの作成方法と合成 ・イラストアニメーションの柵瀬方法		
〔使用テキスト・参考文献〕 デザインの学校 これからはじめる Illustrator の本 プロが教える！Premiere Pro デジタル映像編集講座 ソーテック社		〔単位認定の方法及び基準〕 (試験の評価基準など) 出席状況により評価
〔関連科目〕		

科目名 ドローン操縦（選択）	授業の種類 <input checked="" type="radio"/> 講義    演習    実習	授業担当者 土澤 満																				
時間数（単位数） 2単位	学年・時期 2学年	区分 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択																				
〔授業の目的・ねらい〕 目標 <ul style="list-style-type: none"> <li>■無人航空従事者試験（ドローン検定3級）の取得</li> <li>■ドローン操縦士試験（基礎技能講習）の合格</li> <li>■2等無人航空機操縦士（国家資格）へのチャレンジ</li> </ul>																						
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>■座学：無人航空従事者試験(ドローン検定) 3級合格に向けた対策             <table border="0" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50%;">1) 基礎知識</td> <td style="width: 50%;">11) 操縦者の責任</td> </tr> <tr> <td>2) 機体の動き</td> <td>12) 賠償保険と機体の保険</td> </tr> <tr> <td>3) 機体にかかる力</td> <td>13) マルチコプターの飛行</td> </tr> <tr> <td>4) 気象と風</td> <td>14) フライト前の準備</td> </tr> <tr> <td>5) 機体の構造と姿勢制御</td> <td>15) フライト</td> </tr> <tr> <td>6) 送信機</td> <td>16) トラブルの予測とフライトプラン</td> </tr> <tr> <td>7) バッテリー</td> <td>17) 航空法</td> </tr> <tr> <td>8) ブレードの回転</td> <td>18) 電波法</td> </tr> <tr> <td>9) 基礎力学</td> <td>19) 小型無人機等飛行禁止法</td> </tr> <tr> <td>10) 単位</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>■実技：             <ul style="list-style-type: none"> <li>20) ドローンシミュレーターを使用した操作技術取得</li> <li>21) ドローンサッカーを使用した実践操作技能の向上</li> <li>22) ドローン操縦士試験（基礎技能講習）合格</li> </ul> </li> <li>■チャレンジ             <ul style="list-style-type: none"> <li>23) 2等無人航空機操縦士（国家資格）へチャレンジ</li> </ul> </li> </ul>			1) 基礎知識	11) 操縦者の責任	2) 機体の動き	12) 賠償保険と機体の保険	3) 機体にかかる力	13) マルチコプターの飛行	4) 気象と風	14) フライト前の準備	5) 機体の構造と姿勢制御	15) フライト	6) 送信機	16) トラブルの予測とフライトプラン	7) バッテリー	17) 航空法	8) ブレードの回転	18) 電波法	9) 基礎力学	19) 小型無人機等飛行禁止法	10) 単位	
1) 基礎知識	11) 操縦者の責任																					
2) 機体の動き	12) 賠償保険と機体の保険																					
3) 機体にかかる力	13) マルチコプターの飛行																					
4) 気象と風	14) フライト前の準備																					
5) 機体の構造と姿勢制御	15) フライト																					
6) 送信機	16) トラブルの予測とフライトプラン																					
7) バッテリー	17) 航空法																					
8) ブレードの回転	18) 電波法																					
9) 基礎力学	19) 小型無人機等飛行禁止法																					
10) 単位																						
〔使用テキスト・参考文献〕 ドローンの教科書標準テキスト	〔単位認定の方法及び基準〕 （試験の評価基準など） 出席状況により評価																					
〔関連科目〕																						

科目名 簿記基礎	授業の種類 <input checked="" type="radio"/> 講義    演習    実習	授業担当者 田名部 奈緒美
時間数（単位数） 2単位	学年・時期 2学年	区分 必修 <input checked="" type="radio"/> 選択
〔授業の目的・ねらい〕 目標 全国経理教育協会簿記能力検定3級取得を目標 ねらい 簿記の基礎知識習得		
〔授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法〕  ① 勘定科目 ② 仕訳 ③ 転記 ④ 主要簿と補助簿 ⑤ 売上原価対立法 ⑥ 収益と費用 ⑦ 債権債務 ⑧ 有価証券・株式発行 ⑨ 決算整理 ⑩ 財務諸表（貸借対照表・損益計算書）		
〔使用テキスト・参考文献〕 全経簿記能力検定試験 公式テキスト	〔単位認定の方法及び基準〕 （試験の評価基準など） 出席状況により評価	
〔関連科目〕		